

高校地理歴史科「地理的分野」学習指導案

1. 日時 ○○年△△月××日 第☆限

2. 学年・組 5年◇群

3. 単元名 オセアニア

4. 本時

(1) 本時の主題 オーストラリア：多文化主義

(2) 本時の目標

- ①オーストラリアはどうして多文化主義をとっているのか、具体的にどのような政策をおこなっているのか興味関心を持つ。
- ②異なる習慣や価値観などを持っている人々と共存していく多文化主義であるが、実際にどのような取り組みを行っているかを考察する。
- ③資料集の写真や記事、データ等から情報を的確に収集し、オーストラリアの多文化主義に関して理解を深める。
- ④移民を多く受け入れてきた歴史を持つオーストラリアは多文化主義をとっているが、これまで移民を積極的に受け入れてこなかった日本も今後多文化主義を取るべきかどうか、メリットデメリットを踏まえたうえで判断、自分の意見を表現する。
- ⑤オーストラリアはかつて白豪主義であったが、現在は多文化主義であり、移民や難民を積極的に受け入れていることを理解する。

(3) 本時の評価基準および評価方法

ア. 知識・技能

- ・オーストラリアは多文化主義をとっていること、また多文化主義とはどういうものなのかを理解している。
- ・資料からオーストラリアの移民について読み取り、多文化主義へ至った過程を理解している。

イ. 思考・判断・表現

- ・多文化主義政策では、どのような取り組みが必要か、また多文化主義のメリットデメリットを考察している。
- ・その上で、オーストラリアとは異なる日本が今後多文化主義をとっていくべきかどうかを判断、自分の意見を表現している。

ウ. 主体的に学習に取り組む態度

- ・オーストラリアはどうして多文化主義をとっているのかの理由について、主体的に調べ、またグループワークを通して他者と協働して、意欲的に追究している

(4) 学習の展開

展開	発問・指示	教授・学習活動	資料	学習内容・期待する答え	指導上の留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・どこか海外の国に移住することになったら、どこの国が良いか？ ・世界の中で住みやすいとされている都市はどこだろう。 ・なぜオーストラリアやカナダに住みやすいとされる都市が多いのだろうか？ 	T.発問 P.答える T.発問 P.答える T.発問 P.答える	①	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ、オーストラリア、ヨーロッパ ・1位はオーストラリアのメルボルン。オーストラリアやカナダが高く評価 ・移民が多く、多文化主義をとっているから。 ・気候、きれい、人口の密集具合が適度 	多文化主義とは、互いの違いを認め、対等な関係を築きながら、平等に社会参加できる社会を目指すというもの。

	◎オーストラリアは多文化主義をとっているが、それはなぜか、実際にはどういう取り組みをしているだろうか、どのような良い点悪い点があるのか。また、日本も参考にすべきなのだろうか。	T.問いかけ			・興味関心
展開 ① 15分	○どうして多文化主義を取り入れたのだろうか？ ・本当に多文化なのか？ ・オーストラリアへはどこから移住してくるのか？ ・なぜイギリスからが多いのか？ ・植民地化される前はどのような人がいたのか？ ・植民地化されてアボリジニーはどのような扱いをうけたのか？ ・現在は？ ・1901年に独立した後、どこからの移民が多いか？ ・なぜこの30年でアジアからの移民が増大したのか？ ・白豪主義とはどういったものか？ ・地域としてはアジアからの移民が増大しているが、宗教ではどの宗教が近年増加しているだろうか？ ・また、移民以外でどのような人を受け入れているか？ ○どうして多文化主義を取り入れたのか。	T.問いかけ T.問いかけ T.発問 P.答える T.発問 P.答える T.発問 P.答える T.発問 P.答える T.発問 P.答える T.発問 P.答える T.発問 P.答える T.発問 P.答える T.発問 P.答える T.発問 P.答える T.まとめ	② 資料集 p.258 ③ 資料集 p.258	・国外からの移住者の出身国で一番多いのはイギリス、次いで近隣国であるニュージーランド、また、中国やインドといったアジアの新興国からも多い。 ・かつてイギリスがオーストラリアを植民地としていたから。そのため、現在のオーストラリアの公用語は英語である。 ・狩猟民族であるアボリジニー ・迫害を受け、人口減少 ・保護政策、人口が増加 ・イギリスやアイルランド、1961年からその他のヨーロッパ、1981年からアジア。 ・白豪主義が撤廃されたことなどによって。 ・白豪主義とは、非白人種を差別し、移住を制限するもの。 ・アジアからの移民が多いことと関係して、近年ヒンズー教やイスラム教が増えている。 ・難民 ○オーストラリアは多様な民族から構成されており、お互いを尊重し、共存していく必要があるため。	・資料からの読み取り 補足： オーストラリアでは1分46秒ごとに1人、海外からの移民が増えている。また、国民の43%が海外生まれか、海外生まれの親を持つといわれている。
展開 ② 15分	・実際にオーストラリアに移住するとして、私たちはどのようなことに困るだろうか。 ○それらに対してオーストラリアではどのような取り組みがなされているのだろうか？ ・みんなだったらどのような取り組みをするか、近くの人と話し合ってください。 ・言葉の壁はどうするのか？ ・地域住民との交流やコミュニティ形成はどうしているのか？ ・住む場所はすぐに見つかるのか ・出身国の言語や文化に対する理解及び維持をどのように図るのか？	T.発問 P.答える T.問いかけ P.話し合い P.答える T.説明 T.発問 P.話し合い P.答える T.説明	④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑧	・言葉 ・仕事 ・住居 ・友人（コミュニティ） ・地元住民との軋轢 ・英語を勉強する機会を提供 ・仕事や住居のあっせん ・住民通しを結びつけるイベントの開催 ・到着して間もない移民を対象に最大510時間の英語学習機会が提供。 ・通訳・翻訳サービスを提供（とくに大きな病院にはかならずいる） ・市が文化センターなどで歌や料理、ダンスなどのサークル活動の場の提供、地域住民との交流を図っている。 ・賃貸住宅の情報提供、入居の支援。 ・母国文化、芸能を紹介するイベントを実施。 ・図書館の本を、市の人口構成を参考に取り揃えている。 ・自国の言語について深く学ぶ機会を作る。家庭では多様な言語が使われており、ギリシャ語、イタリア語、アラビア語などは、子ども世代にまで維持される傾向が強い。 ・多言語でのニュース放送。	ニューサウスウェールズ州の取り組みである

	○多文化主義政策のもと、どのような取り組みがなされているのだろうか？	T.問いかけ T.説明		○移住者のニーズに合わせた様々な取り組みがなされている。また、母国の文化や言語を大切にしている。	
展開 ③ 10分	○多文化主義のメリットデメリットはなんだろうか？ ・メリットから考えてみよう ・多くの民族がおり、彼らの多様な文化に触れることでどのようなことがおこるだろうか？ ・また、自分たちとは違う新しい人たちが来ることでオーストラリアの社会経済はどうなるだろうか？ ・オーストラリアでは多くの言語が存在しているが、そのような環境で育った人々はどうなるか？ ・その他、おもいつくメリットはあるだろうか？ ・次にデメリットを考えてみよう。 ・自分たちとは文化や考えが違う人をすんなり受け入れられるのか？ ・一緒に同じ方向をむいて活動することはできるのか？ ・移民者への支援のための費用はどうするのか？ ・手厚い移住者への支援はみんなから支持されているのか？ ○多文化主義のメリットデメリットはなんだろうか？	T.問いかけ T. T.発問 P.答える T.発問 P.答える T.発問 P.答える T.発問 P.答える T.発問 P.説明		メリット： ・多様な文化に触れることで視野が広がる。…社会に寛容の精神を育む ・新しい人がやってくることで刺激になる。…社会経済の発展（移民がもたらす新たな発想やビジネスモデル） ・グローバル化に対応した人材が輩出される。…バイリンガル人口の拡大 デメリット： ・嫌な人でも受け入れなければいけない。…世界情勢を受けて、イスラム教徒への不信感。 ・多様性ゆえにまとまりがなく、結束力が弱い。←これに対して、スポーツが盛んであり、国民がもっとも団結するのはスポーツだともいわれている。 ・支援のための経済的負担が大きいのではないか。…政府への経済的負担 ・旧住民と新住民の軋轢…移民が不当に優遇されているのではないかという不満。 ○自分たちとは違う新しい考えや文化と出会うことで寛容な精神や経済発展、バイリンガル人口の輩出が起こる反面、民族の対立やまとまりがなくなり、政策の費用も必要となる。	補足： 昔から住んでいる若者と、移民子弟の紛争（2000） 中東系住民と白色住民が激しく衝突、人種暴動がおきた。（2005） 市民としての教養や民主主義を認めない異文化定住者への規制を強める（2007）
終結 5分	◎なぜオーストラリアは多文化主義をとることになったのか、実際にどのような取り組みをおこなっているのか、多文化主義の良い点悪い点はなんなのか。 ◎これらをふまえ、こらからの日本はどうすべきか考えてほしい。現在、日本はオーストラリアと異なり移民などは積極的に受け入れておらず、同じ民族の人たちが多く、今後、グローバル化が進む中、オーストラリアを見習って、多様な民族を受け入れて多文化主義政策を取っていくべきだろうか？今から配る紙に、自分の考えを記述してください。	T.まとめ T.発問 P.記述 (P.発表)	資料2	◎オーストラリアは歴史的背景からも多様な民族から構成されており、お互いを尊重し、共存していく必要があるため。実際には、移住者のニーズに合わせた様々な取り組みがなされている。また、母国の文化や言語を大切にしている。良い点、悪い点は、寛容な精神や経済発展、バイリンガル人口の輩出が起こる反面、まとまりがなく、政策の費用も必要であり、争いが起こることである。 ◎賛成 例) これからのグローバル化社会を生き抜いていくために、多様な文化に触れることは大事だから。 例) 経済成長の面で、多様な人を呼んで新しい知を生み出すことはプラスになるため。 ◎反対 例) 日本はオーストラリアと違い、多様な民族から成り立っていないため、混乱が生じると考えるから。 例) 政策のための費用を社会保障など他に使ってほしいから。	理由もきちんと書かせる 時間に余裕があれば異なる意見を発表させ、クラス全体でいろんな考えを共有する。

参考資料

- 甘利昌也・亀井帝・森一也・与那嶺隆（2010）「オーストラリアの多文化主義政策」自治体国際フォーラム、多様なオーストラリア人ーオーストラリアについて（<http://australia.or.jp/aib/people.php>）
オーストラリアの歴史ーオーストラリア政府観光局（<http://www.australia.com/jp/about/culture-history/history.aspx>）
朝日新聞グローブ／オージーを団結させるものとは・多文化主義社会のアイデンティティー（http://globe.asahi.com/feature/100405/05_1.html）
竹田いさみ・森健・永野隆行「オーストラリア入門第2版」東京大学出版会、2007.